

シラバス（令和5年度）音楽Ⅰ

教科	芸術科（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年	3年	担当者	大城美香子
使用教科書	MOUSA（教育芸術社）		副教材等	工工四（キャンパス）			

1 学習の目標

生涯にわたり音楽を楽しめる知識と技能を身につける。
演奏できるレパートリーを1年を通して3曲以上もつこと。

2 学習の計画

月	時数	単元（題材名）	学習内容	評価方法	
4 5	6	歌唱 器楽	・校歌 ・“安里屋ユンタ” P74	<ul style="list-style-type: none"> ・ギター、三線の奏法。 ・楽譜の読み方。 ・ギター、三線の奏法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・プリント ・実技テスト
	7		・“なごり雪” P45		
6	9	鑑賞	・ボレロ P131 ・組曲“動物の謝肉祭”	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の背景について。 ・鑑賞マナーの学習。 ・楽譜の進行、歌詞、コード。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・期末考査
		器楽	・涙そうそう・海の声		
7	6	器楽 歌唱	・楽典 P144～149 ・島人ぬ宝 ・小さな恋のうた	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の決まりごとの学習。 ・歌詞の内容、旋律や和音の理解。 	
9	8	器楽 創作	・エイサー、唐船トイ	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の背景、旋律、リズム、歌詞。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・プリント
10	8	器楽 鑑賞	・“天使にラブソングを2” ・“Oh Happy day” P92	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの構成や楽曲について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・中間考査 ・期末考査
11	8	器楽 歌唱	・ハンドベル合奏 “Happy Xmas” ・歓喜の歌 P136	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム譜の読譜。 ・アンサンブルについて。 ・歌詞と背景の理解。 	
12	7	歌唱	・荒野の果てに P103	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の動きの理解。 	
1	7	鑑賞 器楽	・かぎやで風 ・春の海 P109	<ul style="list-style-type: none"> ・各音楽の特徴を意識して鑑賞し、演奏の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・プリント
		歌唱 器楽	・国歌 ・一年間のまとめ		
授業の展開と学習方法		歌唱、器楽に関して、単位習得に最低限必要な実技課題が授業の始めに提示される。自分のレベル、ペースに合わせて学習して習得すること。 個別練習、グループ練習、合奏と順次おこなう。			

課題・提出物など	各單元ごとに、プリントで確認作業やまとめをおこなう。配布されたプリントから各考査に出題されるので確実に学習、記入すること。
----------	---

3 評価方法

評価方法	評価は次の4つの観点から行う。		
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創意的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
授業態度 プリントの作成と提出状況	プリントの作成と提出状況	実技課題への取り組み	鑑賞態度 プリントの作成と提出状況
<p>評価は、実技課題への取り組みとテスト状況、プリントの作成状況、提出状況、各考査、授業態度を総合的に判断して決定する。</p> <p>歌唱と器楽の評価は各々の演奏経験で差が出ないように、本授業内で上達した部分を評価する、形成的評価を行う。</p>			
評価の割合	ペーパーテスト 80% 実技テスト(形成的評価)10%授業態度と提出物 10%		